I. 事業評価総括表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間 接交付金事業者名	交付金事業に要し た経費	交付金充当額	備考
1		八幡浜市立保内保育所維持管 理運営事業	八幡浜市	19, 417, 000	19, 417, 000	市事業費: 24,917,000

番号	措置名		交付金事業の名称
1	地域活性化措置		八幡浜市立保内保育所維持管理運営事業
交付金	事業者名又は間接交	付金事業者	名 八幡浜市
交付金	事業実施場所	八幡浜市保口	·内町宮内(八幡浜市立保内保育所)
交付金	事業の概要	所の維持管理 す。	安心して子どもを生み、育てることのできる環境整備の一環として、八幡浜市立保内保育理運営を行います。当該施設の維持管理運営に必要な職員の人件費に交付金を充当しま等11名分の人件費、7か月分
道府県	事業に関係する都 又は市町村の主要 施策とその目標	第2次八幡済 基本計画第 主要課題① ・施設の集終 子育て世代の やすい環境	に関係する主要政策・施策: 浜市総合計画(平成28年度〜令和7年度) 1章 健康・福祉) 児童福祉・少子化対策の推進 約による地域の子育て支援機能の充実や各種施策の見直しを通じて、ますます多様化する のニーズに応えられる保育サービスやその他支援サービスを充実させ、子どもを生み育て づくりに努めます。 保育実施保育所数 3カ所(令和7年度)
事業開	始年度		令和3年度 事業終了(予定)年度 令和3年度
事業期	間の設定理由		

	成果目標		成果指標		単位	評価年度	令和4年度			
			内保育所におけ 延長保育利用児		%		100			
	100%	童	受入率:利用者	目標値	%		100			
			÷利用希望者数 100	達成度	%	100				
	評価年度の設定理由 毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。									
	毎年度のPDCAサイクルによる					に評価を実施。)			
交付金事業の成果目標及	交付金事業の定性的な成果及び評価等									
び成果実績	本交付金の活用により、係						し、安定した保			
	育所運営を行うことで、待様									
	近年、女性の高学歴化、社会の									
	い、低年齢児保育や延長保育									
	年度以降も、保育所機能の発展をおった。									
	ビスの提供をおこなうことで、市の基本計画の一つである「安心・希望に満ちた温かなまちづくり」 の実現を図っていきます。									
	評価に係る第三者機関等の活用の有無 無									
	活動指標		単位	· 令和元	年度	令和2年度	令和3年度			
交付金事業の活動指標及	保育士の雇用量	活動実		14 / 17 /	70	98	77			
び活動実績	(雇用人数(人)×雇用期間	活動見			70	98	77			
	(月))	達成馬		10	0.0	100.0	100.0			
交付金事業の総事業費等	令和元年度		和2年度	-	和3年月	度	帯 考			
総事業費	22, 411, 500	29	9, 373, 500	24	4, 917, 00	0	24, 917, 000			
交付金充当額	17, 887, 000	25	5, 460, 000	19	9, 417, 00	0	19, 417, 000			
うち文部科学省分										
うち経済産業省分	17, 887, 000	25	5, 460, 000	19	9, 417, 00	0	19, 417, 000			
交付金事業の契約の概要										
契約の目的	契約の方法	<u>;</u>		の相手方		契約 契約	的金額			
人件費	雇用	I.m → -L	保育士等				24, 917, 000			
交付金事業の担当課室	八幡浜市 市民福祉									
交付金事業の評価課室	八幡浜市 市民福祉	部 子育て	文援課							

別紙。 I 事業評価総括表(令和3年度)

番号	措置名		交付金事業者名又は間接交付 金事業者名	交付金事業に要した経 費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整 備、維持補修又は維 持運営等措置	滑川生活改善センター西駐車場整備 事業	東温市	4, 334, 000	4, 334, 000	総事業費 4,334,000

番号	措置名			交付金事業の名称				
2 1 2 2 2 2 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	设に係る整備、維 計置	持補修又は維		滑川生活改善	センター西駐	車場整備		
交付金事業者名又は	•	者名 東温	 市					
交付金事業実施場所	Î	東温市滑川						
交付金事業の概要		いただき、新たに駐 した。 駐車場整備工事 路盤舗装 364㎡、 ガードパイプ (コ 1号路側擁壁 2㎡	車場を整備することで 進入路拡幅 12㎡、ポンクリート建込用)L= 、2号路側擁壁 3㎡、	は地区の中心的な施設です 利用者の不満を解消すると に側擁壁(ブロック積、植 = 16m、ガードパイプ(土 1-1舗装止工 L=11m、1- 19m(グレーチング3枚)	ともに、地 生シートエ) 中用)L=5n -2舗装止エ	域住民が安心して生活 n L=14m、集水桝設置	策交付金事業を活用させて 舌できる環境整備を図りま 置 1基	
交付金事業に関係す 市町村の主要政策・		Ⅲ基本構想 第2 第4章 心豊か 政策3 生涯 施策1 学 ・わんぱく	に学びあう文化創造の 学習社会の推進 びあい高めあう生涯学 広場・Jr. リーダー	まち習の推進				
		目標:学びあい	活動事業 高めあうことができる の向上に努めます。	まちを実現するために、様	長々な変化に,	応じた学習機会の提供	共、	
事業開始年度		目標:学びあい 学習内容	高めあうことができる				共、 令和 3 年度	
事業開始年度 事業期間の設定理由	ı	目標:学びあい 学習内容	高めあうことができる の向上に努めます。	まちを実現するために、核				
	1	目標:学びあい 学習内容	高めあうことができる の向上に努めます。	まちを実現するために、核				
	1	目標:学びあい 学習内容 令和	高めあうことができる の向上に努めます。 3年度	まちを実現するために、核)年度		令和3年度	
	I	目標:学びあい 学習内容 令和	高めあうことができる の向上に努めます。 3年度 成果指標	まちを実現するために、核事業終了(予定	単位		令和3年度 令和3年度	
	1	目標:学びあい 学習内容 令和 成果目標	高めあうことができる の向上に努めます。 3年度 成果指標	まちを実現するために、 事業終了(予定 成果実績 目標値	単位 % %		令和3年度 令和3年度 -	
	1	目標:学びあい 学習内容 令和 成果目標	高めあうことができる の向上に努めます。 3年度 成果指標	まちを実現するために、核 事業終了(予定 成果実績 目標値 達成度	単位 % % %		令和3年度 令和3年度 -	
事業期間の設定理由		目標:学びあい 学習内容 令和 成果目標 利用者の満足度向上	高めあうことができる の向上に努めます。 3年度 成果指標	まちを実現するために、核 事業終了(予定 成果実績 目標値 達成度 評価年度の設定	単位 % % %		令和3年度 令和3年度 -	
事業期間の設定理由		目標:学びあい 学習内容 令和 成果目標 利用者の満足度向上	高めあうことができる の向上に努めます。 3年度 成果指標	まちを実現するために、核 事業終了(予定 成果実績 目標値 達成度 評価年度の設定	学位 % % % %	評価年度	令和3年度 令和3年度 -	
事業期間の設定理由		目標:学びあい 学習内容 令和 成果目標 利用者の満足度向上 令和3年度に整備し 滑川生活改善センタ 滑川生活改善センタ	高めあうことができるの向上に努めます。 3年度 成果指標 成果指標 、早期に評価すること 、早期に評価すること ・地域対策交付金事業の ・地域対策交付金事業の	まちを実現するために、核 事業終了(予定 成果実績 目標値 達成度 評価年度の設定 ができるため 交付金事業の定性的なた いては、計画の100%を おり整備できたことで、駅	 単位 % % % 定理由 対果及び評価 実施済み。 注車場として 	評価年度 評価年度	令和3年度 令和3年度 -	
事業期間の設定理由		目標:学びあい 学習内容 令和 成果目標 利用者の満足度向上 令和3年度に整備し 滑川生活改善センタン る人たちに電源立地	高めあうことができるの向上に努めます。 3年度 成果指標 成果指標 、早期に評価すること 、早期に評価すること ・地域対策交付金事業の ・地域対策交付金事業の	まちを実現するために、核 事業終了(予定 成果実績 目標値 達成度 評価年度の設定 ができるため 交付金事業の定性的なた いては、計画の100%を おり整備できたことで、駅	単位%%%定理由成果及び評価実施済み。注車場としてか地元との協	評価年度 評価年度 有効利用でき、地元信 調・協働関係の構築が	令和3年度 令和3年度 - - -	

	活動指標		単位	令和3年度	
		活動実績	式	1	
交付金事業の活動指標及び活動実績	駐車場整備	活動見込	式	1	
		達成度	%	100.0%	
交付金事業の総事業費等	令和3年度				備 考 (令和3年度)
総事業費	4, 334, 000				4, 334, 000
交付金充当額	4, 334, 000				4, 334, 000
うち文部科学省分		***************************************			
うち経済産業省分	4, 334, 000				4, 334, 000
交付金事業の契約の概要					
契約の目的	契約の方法			契約の相手方	契約金額
滑川生活改善センター西駐車場整備工事	指名競争入村	E H	南修	条工業株式会社	4, 334, 000
交付金事業の担当課室	東温市総務部総務課				
交付金事業の評価課室	東温市総務部総務課				

I 事業評価総括表(令和3年度)

番	番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
	1	福祉対策措置	嶺南分遣所運営事業	四国中央市	6, 637, 000	6, 637, 000	総事業費 9,243,600

番号	措置名			交付金事業の名称					
1	1 福祉対策措置				嶺	南分遣所運営事業			
交付金事	 業者名又は間接交付金事業者		国中央市						
	業実施場所	四国中央市富郷町							
交付金事	業の概要	四国中央市嶺南地域 関となっています。 際には住民の避難誘 してもおかしくない まで以上に嶺南分遣	勤務する消防職員は、 導、救助や救出を行っ とされる「南海トラン 所への期待感が高まる	る過疎地域です。そ 火災発生時におけ うなどあらゆる場面 フ地震」では、生活 る中、これらの活動	「る消火活動の 「で活躍し、2 「道路、ライフ」 「を毎日24時間)みならず、日常的に地域 4時間体制で地域住民の不 クライン等が寸断され、陸 引行うための人員確保が難	舌を送るうえでなくてはならた 内の警戒巡視を行ったり、台屋 安解消に努めています。しかし の孤島となることが危惧されて しくなりつつあり、安定的な領 期待に応えることのできる運営	風や豪雨等の し、いつ発生 におり、これ 質南分遣所運	
	業に関係する都道府県又は 主要政策・施策とその目標	基本方針3 快適 施策14防災・ (1)全市的 ・全市的な センター また、大 ○主な関連計	な防災体制の充実 防災体制の強化に向い 、常備消防施設の適」 規模災害に備え、市場 画:四国中央市地域 制を強化し、「みる	づくり ナ、市・関係機関を 正配置、地域におけ 或・県域を越えた丘 坊災計画	・含む組織体制 ・高消防・防火 域連携を進め	、施設、各種消防車両や資料 のます。	センターを核に、高機能消防指機材の整備を図ります。 集に、市民・地域とともに安全		
事業開始	年度	슈	和3年度	事業終了(予定)年度 令和3年度					
		17	1 = 1 50		尹未於亅〔〕	足) 干皮	令和 3 年度		
事業期間の設定	の設定理由	15	1112		尹未於」(」	厂) 干皮	令和3年度 		
事業期間	の設定理由	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度		
事業期間	の設定理由	成果目標 市民からの119番通報	成果指標 119番通報に対して即	成果実績					
事業期間	の設定理由	成果目標	成果指標 119番通報に対して即 応した件数÷市民か		単位 %		令和3年度		
事業期間	の設定理由	成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の	成果指標 119番通報に対して即 応した件数÷市民か らの119番通報件数×	目標値	単位 % %		令和3年度 100 100		
事業期間	の設定理由	成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき	成果指標 119番通報に対して即 応した件数÷市民か らの119番通報件数×		単位 % % %	評価年度	令和3年度 100		
		成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の	成果指標 119番通報に対して即 応した件数÷市民か らの119番通報件数× 100	目標値 達成度	単位 % % % % 評価年度の	評価年度	令和3年度 100 100 100%		
	の設定理由 業の成果目標及び成果実績	成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の	成果指標 119番通報に対して即 応した件数÷市民か らの119番通報件数× 100	目標値 達成度 事業改善を図るた	単位 % % % 評価年度の か、事業実施	評価年度	令和3年度 100 100 100%		
		成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の 維持 本事業の実施により た。(119番通報34	成果指標 119番通報に対して即応した件数÷市民からの119番通報件数× 100 嶺南分遣所の適正な。	目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 人員配置が維持され が進み、山間部に	単位 % % % 評価年度の め、事業実施 事業の定性的 、市民から1 位置する嶺南	評価年度 設定理由 後早期に評価を実施するた な成果及び評価等 19番通報に対し、消防車、 地域では、迅速に出動要請	令和3年度 100 100 100%	遣所は、安	
		成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の 維持 本事業の実施により た。(119番通報3% 心、安全な生活を送	成果指標 119番通報に対して即応した件数÷市民からの119番通報件数× 100 嶺南分遣所の適正な。	目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 人員配置が維持され が進み、山間部にな 字在となっています	単位 % % 評価年度の め、事業実施 事業の定性的 に置する嶺南市 で、今後も住民	評価年度 設定理由 後早期に評価を実施するた な成果及び評価等 19番通報に対し、消防車、 地域では、迅速に出動要請	令和3年度 100 100 100% か 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数 数	遣所は、安	
		成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の 維持 本事業の実施により た。(119番通報34 心、安全な生活を送 きたいと思います。	成果指標 119番通報に対して即応した件数÷市民からの119番通報件数× 100 嶺南分遣所の適正なかまかの過話なが、100	目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 人員配置が維持され が進み、山間部にな 字在となっています	単位 % % % 評価年度の め、事業実施 事業の定性的 い、置する衛南市 こ。今後も住国 系る第三者機 無	評価年度 設定理由 後早期に評価を実施するた な成果及び評価等 19番通報に対し、消防車、 地域では、迅速に出動要請 その信頼と期待に応えるべ 関等の活用の有無	令和3年度 100 100 100% *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	遣所は、安 置に努めてい	
交付金事	業の成果目標及び成果実績	成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の 維持 本事業の実施により た。(119番通報34 心、安全な生活を送 きたいと思います。	成果指標 119番通報に対して即応した件数÷市民からの119番通報件数× 100 嶺南分遣所の適正なかけの出動3件)高齢者るうえで欠かせないる	目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金: 人員配置が維持され が進み、山間部に存在となっています 評価に	単位 % % ※ 評価年度の か、事業実施 事業の定性的 な置する嶺南 で、一会も住国 系る第三者機 無	評価年度 設定理由 後早期に評価を実施するた な成果及び評価等 19番通報に対し、消防車、 地域では、迅速に出動要請 たの信頼と期待に応えるべ 関等の活用の有無 令和元年度	令和3年度 100 100 100% **** *** *** *** *** ** ** ** ** ** *	遣所は、安 置に努めてい 令和3年度	
で付金事	業の成果目標及び成果実績	成果目標 市民からの119番通報 に対して、消防車両 等の出動が即応でき た件数の割合100%の 維持 本事業の実施により た。(119番通報34 心、安全な生活を送 きたいと思います。	成果指標 119番通報に対して即応した件数÷市民からの119番通報件数× 100 嶺南分遣所の適正なかけの場所をできます。 は、一出動3件)高齢者をできます。 は、一、は、一、は、一、は、一、は、一、は、一、は、一、は、一、は、一、は、一	目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 人員配置が維持され が進み、山間部にな 字在となっています	単位 % % % 評価年度の め、事業実施 事業の定性的 い、置する衛南市 こ。今後も住国 系る第三者機 無	評価年度 設定理由 後早期に評価を実施するた な成果及び評価等 19番通報に対し、消防車、 地域では、迅速に出動要請 その信頼と期待に応えるべ 関等の活用の有無	令和3年度 100 100 100% *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	遣所は、安 置に努めてい	

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考 (令和3年度)
総事業費	10, 356, 000	9, 230, 000	9, 243, 600	9, 243, 600
交付金充当額	6, 633, 000	6, 633, 000	6, 637, 000	6, 637, 000
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	6, 633, 000	6, 633, 000	6, 637, 000	6, 637, 000
交付金事業の契約の概要	•			
契約の目的	契約の方法		契約の相手方	契約金額
消防職員人件費	雇用	消防職員8名		9, 243, 600
交付金事業の担当課室	消防本部 警防課			
交付金事業の評価課室	総務部 総務調整課			

別紙 I 事業評価総括表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	新宮地域福祉バス運行事業	四国中央市	2, 500, 000	2, 500, 000	総事業費 2,988,000

番号	評価個表(令和3年度) 措置名		交付金事業の名称						
1	地域活性化措置				新宮地	域福祉バス運行事業			
交付金事	ュース 業者名又は間接交付金事業者 エース	首名 四[
交付金事	業実施場所	四国中央市新宮地区							
交付金事	業の概要	新宮地域は高齢者人 通院など日常生活に いることから、新宮 おりますが、福祉バ 用は非常に困難であ	(欠かせない交通手段と 地域のみならず、近隣 スの運転手は二種免許 	の過疎地域でありなっています。ま は地域との連絡交通 取得者又は自家用 業運営が懸念され	た、福祉バス 1手段として重 1有償運送の静 しています。本	所の占める割合が大きい場合は市内の川之江地域や三 をは市内の川之江地域や三 直要な役割を担っています は可受講者でなければ運転 を付金の活用により、道 の維持、向上が図られます	E島地域へ繋がる公共交 □。現在、福祉バスは3台 ⑤することができないた 『転手の雇用の安定化が	通機関とも接続して すでの運行を維持して め、運転手の新規雇	
	業に関係する都道府県又は 主要政策・施策とその目標	基本方針3 快適 施策12 円滑 (3)公共交 ・路線バス		らり と連携しながら現	見行路線の維持	存確保に努め、デマンドク			
		づくりを	・進める中で、公共施設 注活利便性を支える円滑	などを公共交通で	うつないでいく	ことを検討します。	こ、少いて答りせる来が	型のより	
事業開始	4年度	づくりを 目標:産業活力と生	進める中で、公共施設	などを公共交通で	うつないでいく	、ことを検討します。 います。	- 、少いで答りせる来形: 		
	年度 の設定理由	づくりを 目標:産業活力と生	推める中で、公共施設 活利便性を支える円滑	などを公共交通で	でつないでいく)実現を目指し	、ことを検討します。 います。			
		づくりを 目標:産業活力と生	推める中で、公共施設 活利便性を支える円滑	などを公共交通で	でつないでいく)実現を目指し	、ことを検討します。 います。		年度	
		づくりを 目標:産業活力と生 令 成果目標 運行に関する住民か	が 一進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 か和3年度 成果指標 運行に関する住民か	などを公共交通で	つないでいく 実現を目指し 事業終了(予	、ことを検討します。 します。 ・ ・ た)年度	令和34	年度	
		づくりを 目標:産業活力と生 令 成果目標 運行に関する住民か	が 一進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 か和3年度 成果指標 運行に関する住民か	などを公共交通で な都市交通体系の	でつないでいく つ実現を目指し 事業終了(う	、ことを検討します。 します。 ・ ・ た)年度	令和34 令和3年	年度	
		づくりを 目標:産業活力と生 令 成果目標 運行に関する住民か らの苦情件数 目標	が 一進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 か和3年度 成果指標 運行に関する住民か	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値	でつないでいく つ実現を目指し 事業終了(う 単位 件 件	、ことを検討します。 します。 ・ ・ た)年度	令和34 令和3年 0	年度	
		づくりを 目標:産業活力と生 令 成果目標 運行に関する住民か らの苦情件数 目標	が 一進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 か和3年度 成果指標 運行に関する住民か	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績	でつないでいく)実現を目指し 事業終了(予 単位 件	にとを検討します。 います。 を定)年度 評価年度	令和34 令和3年 0 0	年度	
事業期間	の設定理由	づくりを 目標:産業活力と生 令 成果目標 運行に関する住民か らの苦情件数 目標	が進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 計和3年度 成果指標 運行に関する住民からの苦情件数	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値 達成度	でつないでいく つ実現を目指し 事業終了(予 単位 件 件 ・ 件 ・ % 評価年度の	にとを検討します。 います。 を定)年度 評価年度	令和3年 令和3年 0 0 100	年度	
事業期間		づくりを 目標:産業活力と生 令 成果目標 運行に関する住民か らの苦情件数 目標	が進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 計和3年度 成果指標 運行に関する住民からの苦情件数	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値 達成度 事業改善を図るた	でつないでいく シ実現を目指し 事業終了(予 単位 件 件 % 評価年度の め、事業実施	にとを検討します。 にます。 を定)年度 評価年度	令和3年 令和3年 0 0 100	年度	
事業期間	の設定理由	でする。 一ででは、 一でででは、 一でででである。 一ででである。 一ででは、 でのできでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	は進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 活和3年度 成果指標 運行に関する住民からの苦情件数 の苦情件数	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 うえで必要不可か も手段を持たない伯	でつないでいく つ実現を目指し 事業終了(う) 単位 件 件 % 評価年業実施 事業のる運転的である。 ではいる。 ではいる。	にとを検討します。 ・定)年度 評価年度 設定理由 後早期に評価を実施する	令和3年 令和3年 0 0 100 ため 安定的な運行を継続す ご密着した重要な交通手	年度 渡 さことができまし みことなっています。	
事業期間	の設定理由	で	は進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 活和3年度 成果指標 運行に関する住民からの苦情件数 の苦情件数	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 ううえで持たない付金 で持たない任日	でつないでいく つ実現を目指し 事業終了(う 単位 件 件 % 解事業定 運の が、事業ののでは、 では、 が、事業ののでは、 では、 が、事業ののでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことを検討します。た定)年度評価年度設定理由後早期に評価を実施するな成果及び評価等Fを確保することができ、5ため、福祉バスは生活	令和3年 令和3年 0 0 100 ため 安定的な運行を継続す ご密着した重要な交通手	年度 渡 さことができまし みことなっています。	
事業期間	の設定理由	でくりを生 ででは、 でででは、 でででででででできる。 でででででできる。 でででででできる。 でででででできる。 ででででできる。 でいるでででできる。 でいるでででできる。 でいるででできる。 でいるででできる。 でいるでは、 でいるでも、 でいるでも、 でいると。 でいるで、 でい。 でいるで、 でいるで、 とっと。 でい。 でいるで、 とっと。 でいるで、 とっと。 でいるで、 とっと。 でいると。 で、 とっと。 で、 と。 で、 と。 で、 と。 で、 と。 で、 と。 で、 と。 で、 と。 と。 と。 で、 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	は進める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 行和3年度 成果指標 運行に関する住民からの苦情件数	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 ううえで持たない付金 で持たない任日	でつないでいく でフェストででいるでは、 でフェストででは、 でフェストででは、 でフェストでは、 のでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 では、 ののでは、	ことを検討します。ことを検討します。定 年度評価年度設定理由後早期に評価を実施するな成果及び評価等Fを確保することができ、ため、福祉バスは生活がい福祉バスとなるようが関等の活用の有無	令和3年 0 0 100 ため を定的な運行を継続す ご密着した重要な交通手 継続維持に努め、住民の	年度 度 ることができまし となっています。 生活の向上に役立て	
李付金事	の設定理由	で	は他める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 活和3年度 成果指標 運行に関する住民からの苦情件数 の、福祉バスを運行する 高齢化が進み、自ら移動 情件数については0件で です。	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 かうえを持たなけた。 ううえを持たなに がした。 今後も住戶 評価に	でつないでいく でフェストでではしている。 でフェストででは、 でフェストでは、 でフェストでは、 でフェストでは、 ののは、 ででは、 ののは、 では、 ののは、 では、 ののは、 では、 ののは、 では、 ののは、 では、 ののは、 では、 ののは、	にことを検討します。 ます。 を定)年度 評価年度 設定理由 後早期に評価を実施する な成果及び評価等 手を確保することができ、 3ため、福祉バスは生活けい福祉バスとなるよう系 関等の活用の有無 令和元年度	令和3年 0 0 100 ため を定的な運行を継続す ご密着した重要な交通手 継続維持に努め、住民の	年度 度 ることができまし みとなっています。 生活の向上に役立て 令和3年度	
李付金事	の設定理由	で	は他める中で、公共施設 活利便性を支える円滑 活和3年度 成果指標 運行に関する住民からの苦情件数 の、福祉バスを運行する 高齢化が進み、自ら移動 情件数については0件で です。	などを公共交通で な都市交通体系の 成果実績 目標値 達成度 事業改善を図るた 交付金 ううえで持たない付金 で持たない任日	でつないでいく でフェストででいるでは、 でフェストででは、 でフェストででは、 でフェストでは、 のでは、 のでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 では、 ののでは、	ことを検討します。ことを検討します。定 年度評価年度設定理由後早期に評価を実施するな成果及び評価等Fを確保することができ、ため、福祉バスは生活がい福祉バスとなるようが関等の活用の有無	令和3年 0 0 100 ため を定的な運行を継続す ご密着した重要な交通手 継続維持に努め、住民の	年度 変 ことができまし 段となっています。 生活の向上に役立て	

交付金事業の総事業費等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考 (令和3年度)	
総事業費		2, 832, 000	2, 949, 000	2, 988, 000		2, 988, 000
交付金充当額		2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000		2, 500, 000
うち文部科学省分						
うち経済産業省分		2, 500, 000	2, 500, 000	2, 500, 000		2, 500, 000
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方	契約金額	
福祉バス運行に係る運転引	戶人件費	雇用	運転手3名			2, 988, 000
交付金事業の担当課室		経済部 観光交通課	111			
交付金事業の評価課室		総務部 総務調整課				

I. 事業評価総括表(令和3年度)

(単位:円)

						(1 1 1 1 1 1
番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	久万高原町塵芥処理事業	久万高原町	16, 164, 000	16, 164, 000	総事業費 17,051,051
2	地域活性化措置	久万高原町し尿処理事業	久万高原町	5, 000, 000	5, 000, 000	総事業費 8,139,370

(備考) 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表(令和3年度)										
番号 措置名	7				交付金事業の名称					
1 地域活性化措置	久	万高原町塵芥処理事	業							
交付金事業者名又は間接交付金事業		久万	高原町							
交付金事業実施場所	久万高原町露峰乙									
交付金事業の概要		高原町住民の生活環境の向上に資するため、ごみの適切な処理体制確立を図ることで、快適な生活環境の確保に努めます。 内容:久万高原町塵芥処理施設管理運営(4月~3月、8名の人件費)								
交付金事業に関係する都道府県又は 市町村の主要政策・施策とその目標	第3編 基本計画 第4章 自然豊か 第1節 自然・ 2生活環境 住民への啓発活動を通 識向上を図ります。	第4章 自然豊かで安心・安全な暮らしづくり(都市基盤・環境) 第1節 自然・生活環境 2生活環境 民への啓発活動を通じて、ごみの発生抑制及び分別排出、減量化(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に対する意向上を図ります。 ・期的かつ安定的な廃棄物の処理体制を確保し、廃棄物の適正処理と資源化を両立した循環型社会の形成を図り、快適で潤いのある生活空間を								
事業開始年度	令	和3年度		事業終了((予定) 年度	令和	13年度			
事業期間の設定理由			<u> </u>							
	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和 4	1年度			
		三活	成果実績	日		_				
	快適で潤いのある生活		 目標値	日		_				
	空間の向上		達成度	%		_				
				平価年度の						
交付金事業の成果目標及び成果実績	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施									
	交付金事業の定性的な成果及び評価等									
	本事業の実施により、長期的かつ安定的な廃棄物の処理体制を確保することができ、令和3年度には可燃ごみ1,892 t 、不燃ごみ122 t を処理 し、廃棄物の適正処理と資源化を両立した循環型社会の形成が図られ、快適で潤いのある生活空間を提供することができました。今後において も、町内全住民に快適でうるおいのある生活空間を提供していくため、長期的かつ安定的なごみ処理の体制の確保に努めます。									
	評価に係る第三者機関等の活用の有無									
	江毛	-6-1-mi	1	無	人 和一左歯	A 10 7 10	△和 ○ 左座			
	活動	佰悰	活動実績	単位日	令和元年度 309	<u> </u>				
交付金事業の活動指標及び活動実績	施設稼働日	数 309日	活動見込	日	309	309				
			達成度	%	100.0%	100.0				
交付金事業の総事業費等		令和元年度	令和	2年度	令和3	年度 備 考	(令和3年度)			
総事業費		10, 023, 392	11, 58	2,684	17, 051	, 051	17, 051, 051			
交付金充当額		9, 320, 000	10, 25	0,000	16, 164	, 000	16, 164, 000			
うち文部科学省分										
うち経済産業省分		9, 320, 000	10, 25	10, 250, 000 16, 164, 000			16, 164, 000			
交付金事業の契約の概要	•	•				•				
契約の目的		契約の方法		契約の相手方			契約金額			
人件費		雇用			センター職員 8名		17, 051, 051			
交付金事業の担当課室	久万高原	町環境整備課								
交付金事業の評価課室	久万高原	町まちづくり営業課	Ę.							

番号		1				 交付金事業の名称				
2 封	也域活性化措置		万高原町し尿処理事	- 業						
	者名又は間接交付金事業を			高原町						
交付金事業?		久万高原町露峰乙	•							
交付金事業	の概要		民の生活環境の向上に資するため、し尿の適切な処理体制確立を図ることで、快適な生活環境の確保に努めます。 万高原町し尿処理施設管理運営(4月~3月、2名の人件費)							
	に関係する都道府県又は 要政策・施策とその目標	第2次久万高原町総合計画(平成28年度~令和7年度) 第3編 基本計画 第4章 自然豊かで安心・安全な暮らしづくり(都市基盤・環境) 第1節 自然・生活環境 2生活環境 し尿処理施設の延命化を図りながら、広域でのし尿処理体制の検討・確立をします。 豊かで美しく、住みよい生活環境の保全と快活な地域づくりを実現するため、長期的かつ安定的なし尿処理等の体制を確保します。								
事業開始年		令和	3年度		事業終了(予定)年度	令和 3	年度		
事業期間の	設定理由			<u> </u>						
4 /K///IN/ 1/	以 人之工口	成果目標	成果指標		単位	評価年度		 F度		
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	成果実績	В В					
		生活環境の保全及び向	_							
		上		目標値	日					
				達成度	%					
	o	評価年度の設定理由 毎年度のRDCAサイクルによる東莞改善を図るため、東莞実施羽年度日期に証価を実施								
父付金事業	の成果目標及び成果実績	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施 交付金事業の定性的な成果及び評価等								
		本事業の実施により、長期的かつ安定的なし尿処理の体制が確保でき、令和3年度には一般し尿2,008kl、浄化槽汚泥2,064klを処理し、町内全域の自然豊かで美しく住みよい生活環境の保全と清潔な地域づくりを実現することができました。今後においても、町内全住民の安心・安全な生活環境の保全及び向上に資するため、長期的かつ安定的なし尿処理の体制の確保に努めます。								
		評価に係る第三者機関等の活用の有無								
		江利北	△ ∤⊞		無	人 和二左座	△和0左座	人和? 左座		
		活動指	1 保	活動実績	単位日	<u> </u>	令和 2 年度 258	令和3年度 257		
交付金事業の	の活動指標及び活動実績	施設稼働日数	数 257日	活動見込	日	257	258	257		
				達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		
交付金事業	の総事業費等		令和元年度	令和	2年度	令和3	年度 備 考	(令和3年度)		
総事業費	\$		11, 310, 030	8, 8'	76, 036	8, 139	, 370	8, 139, 370		
交付金充	艺当額		11, 200, 000	8, 87	76, 036	5, 000	, 000	5, 000, 000		
うち	文部科学省分			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		<u> </u>				
:				1, 200, 000 8, 876, 036			5, 000, 000 5, 000, 000			
	契約の目的		契約の方法			約の相手方	契約			
	人件費		雇用 環境衛生センター職員 2名 8,139,370							
交付金事業			叮環境整備課							
交付金事業の	の評価課室	久万高原町	町まちづくり営業課							

I 事業評価総括表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	松山市東消防署湯山救急出張所運営事業	松山市	4, 400, 000	4, 400, 000	総事業費 10,377,865

番号	評価個表(令和3年度) 措置名				3	交付金事業の名称				
1	福祉対策措置			松	山市東消防	·署湯山救急出張所運営	古事業			
交付金事	業者名又は間接交付金事業	省 名 松	松山市							
交付金事業	業実施場所	松山市末町								
交付金事	業の概要		減水区間等の山間部から最も近くに位置し、当該区間すべてを管轄とする「松山市東消防署湯山救急出張所」を安定的かつ有効に運営するために必要な消防局職員の人件費 (3名・6ヵ月) を補完するものです。							
交付金事業に関係する都道府県又は 市町村の主要政策・施策とその目標		「人が集い 笑意 基本目標 2 政策 2 安全	合計画後期基本計画(頁広がる 幸せ実感都 生活に安らぎのある 全に暮らせる環境をつ 方・救急・救助体制の	市 まつやま」の争 まち くる						
事業開始。	丰度	ŕ	合和3年度		事業終了(予定)年度	令和3年	度		
事業期間の	の設定理由					•				
		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度			
				成果実績	%		_			
		地域住民の安心 感向上	_	 目標値	%					
				達成度	%		_			
				ZPAIX.	評価年度の)設定理由				
交付金事	業の成果目標及び成果実績	松山市東消防署湯山救急出張所の運営事業は、恒常的な事業内容ですが、交付対象経費の期間(令和3年8月1日~令和4年1月31日)を含む令和3年度を評価年度としたものです。								
		交付金事業の定性的な成果及び評価等								
		本事業の実施により湯山地区を管轄する「松山市東消防署湯山救急出張所」を安定かつ有効に運営することができ、市民からの救急出動要請に対して100%即応することができました。(令和3年中の湯山救急出張所救急件数728件) これにより、「松山市東消防署湯山救急出張所」の消防力の維持を図ることはもちろん、有事の際に地域住民の安心感を向上させ、安心・安全なまちづくりに寄与しました。								
				評価に依		銭関等の活用の有無				
		活重	加指標		無 単位	₹	令和 2 年度	令和3年度		
				活動実績	人月	18	9	18		
交付金事業	業の活動指標及び活動実績		員の雇用量 〈雇用期間(月)	活動見込	人月	18	9	18		
		作用数 (八) /	/压/11対用 (刀 /	達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%		

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考 (令和3年度)				
総事業費	6, 091, 200	3, 331, 800	10, 377, 865	10, 377, 865				
交付金充当額	4, 400, 000	1, 300, 000	4, 400, 000	4, 400, 000				
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	4, 400, 000	1, 300, 000	4, 400, 000	4, 400, 000				
交付金事業の契約の概要	•							
契約の目的	契約の方法		約の相手方	契約金額				
消防局職員人件費	雇用	消防局職員3名		10, 377, 865				
交付金事業の担当課室	松山市消防局総務課							
交付金事業の評価課室	松山市消防局総務課	松山市消防局総務課						

I 事業評価総括表(令和3年度)

3	番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
	1	地域活性化措 置	別子山地域バス運行事業	新居浜市	4, 514, 000	4, 514, 000	総事業費 15,916,307

番号	Y価値表 (令和3年度) 措置名					交	付金事業の名称			
1	地域活性化措置					別子山	」地域バス運行事	 業		
交付金事	業者名又は間接交付金事	事業者名 新月	新居浜市							
	業実施場所	新居浜市内								
交付金事業の概要		別子山地域と新居浜市街地との交流を活性化し、地域住民の利便性の向上、別子山地域の振興と福祉向上を図るため、定期バス を運行します。 別子山地域〜新居浜市街地(46.5km)、3往復(6便)365日								
交付金事業に関係する都道府県 又は市町村の主要政策・施策と その目標		第5次新居浜市長 【政策】持続発展 【施策】運輸交通 【目標】公共交通	が可能な、活力ある 体系の整備	る産業活動の	実現					
事業開始	年度	令	和3年度		事業総	終了(子	予定) 年度		令和3	年度
事業期間	の設定理由		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							
		成果目標	成果	指標			単位	評価年度		令和4年度
		公共交通(バス・			成果	実績	人		255, 897	
		ンドタクシー) の 者数			目標	票値	人		420,000	
		420,000人			達瓦	戈度	%	60.9%		
		評価年度の設定理由								
±//		第六次新居浜市長期総合計画の事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。								
父付金事 実績	業の成果目標及び成果	交付金事業の定性的な成果及び評価等								
		街地との一体性を 子山地域の児童や	別子山地域バスは、別子山地域と新居浜市街地を結ぶ唯一の公共交通であり、別子山地域住民の利便性確保、福祉の向上及び市街地との一体性を図ることを目的として運行を行っております。令和3年度の乗車人数は4,398人となっており、コロナ禍や別子山地域の児童や生徒の転出など利用回数が減少したため、前年(令和2年度)と比べ、△262人となりました。 今後は、同バスの広報強化に努めるとともに観光情報と併せた情報発信を行うなど、利用客の増加を図ってまいります。							
				評価	は保る第	写三者機 無	関等の活用の有無	\		
		活動	指標		È	単位	令和元年	度	令和2年度	令和3年度
交付金事	業の活動指標及び活動			活動実績		更年	2, 1		2, 190	2, 190
実績		別子山地域/ 便数×道	バス連行便数 軍行日数	活動見足		更年	2, 1		2, 190	2, 190
		2,3,7,8	214 11 291	達成度		%	100.	0%	100.0%	100.0%

交付金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考 (令和3年度)
総事業費	14, 812, 208	15, 893, 813	15, 916, 307	15, 916, 307
交付金充当額	6, 000, 000	6, 000, 000	4, 514, 000	4, 514, 000
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	6, 000, 000	6, 000, 000	4, 514, 000	4, 514, 000
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方	7法	契約の相手方	契約金額
別子山地域バス運行(委託	託) 指名競争,	入札 有限会社 光	タクシー (新居浜市)	15, 916, 307
交付金事業の担当課室	新居浜市経済部別子山	支所		
交付金事業の評価課室	新居浜市経済部運輸観	光課		

I 事業評価総括表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	大保木公民館運営事業	西条市	2, 200, 000	2, 200, 000	総事業費 2,883,870

番号	措置名				ダ	で付金事業の名称			
1	地域活性化措置				大保	木公民館運営事業			
交付金事	業者名又は間接交付金事業	首名 西	西条市						
交付金事	業実施場所	西条市中奥							
交付金事業の概要		大保木公民館職員の人件費(3名)6か月分に充当します。大保木公民館は、現在職員が3名勤務し、市民の生涯学習に対するさまざまなニーズや地域活動に対応する活動の拠点として地域住民に幅広く利用されています。本交付金を活用し職員体制を維持することによって、今後も生涯学習の拠点となる公民館の利用環境の充実を図り、地域課題の解決や地域ネットワークの強化などに繋げます。							
交付金事業に関係する都道府県又は 市町村の主要政策・施策とその目標		第2期西条市総合計画(平成27年度~令和6年度) 基本計画 第5章 豊かな心を育む教育文化のまちづくり 第4節 社会教育の充実 (1)地域づくり、人づくりを目指した社会教育を推進します 市民1人あたりの公民館利用回数を増加します 基準値(R1)6回 目標値(R6)7回 (30年度総利用者数 656,214人÷地域内人口 109,235人) 参考:加茂公民館の令和元年度12~1月の利用実績 966人							
事業開始。	年度	令	和3年度		事業終了(予定)年度	令和3年度		
事業期間の	の設定理由								
		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度		
		大保木公民館利	令和3年12月~	成果実績	成果実績 人		895		
		用者数1,130人以	令和4年1月の	目標値	人		1, 130		
		上	利用者数	達成度	%		79.0%		
		評価年度の設定理由							
六什么事	業の成果目標及び成果実績			交付金充当期間	引中に評価す	ることが好ましいた。	う。		
文刊 金事	来の成米日保及の成米夫領			交付金	事業の定性的	な成果及び評価等			
		なお、令和4年1月 まざまなニーズや地	域活動に対応する活	イルス感染症の再拡 動拠点として地域化	な大の影響に E民に幅広く	より、目標を下回る編 利用されています。	告果となりましたが、市民の生涯学習に対するさ b域住民に概要を周知し、理解が得られました。		
				評価に作		関等の活用の有無			
					無				

	活動指標		単位	3年度		
カル人 古光 のば私 地無 ロッパば私 内体	大保木公民館職員の雇用量	活動実績	人月	18.0		
交付金事業の活動指標及び活動実績	(雇用人数(3人)×雇用期間(6か	活動見込	人月	18. 0		
	月))	達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和3年度					備 考 (令和3年度)
総事業費	2, 883, 870					2, 883, 870
交付金充当額	2, 200, 000					2, 200, 000
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	2, 200, 000					2, 200, 000
交付金事業の契約の概要	•		•		•	
契約の目的	契約の方法		契	2約の相手方		契約金額
人件費	雇用		大保木	公民館職員 3名		2, 883, 870
交付金事業の担当課室	西条市 教育委員会管理部 袖	上会教育課				
交付金事業の評価課室	西条市 産業経済部 産業振り	単課				

I 事業評価総括表(令和3年度)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	加茂公民館運営事業	西条市	2, 200, 000	2, 200, 000	総事業費 2,404,200

番号	措置名		交付金事業の名称						
1	地域活性化措置		加茂公民館運営事業						
交付金事業	_ 業者名又は間接交付金事業ネ	者名 西	条市						
交付金事業	業実施場所	西条市荒川							
交付金事業の概要		地域活動に対応する	人件費(2名)6か月分は る活動の拠点として地域 公民館の利用環境の充分	域住民に幅広く利用	用されていま	す。本交付金を活用し	、市民の生涯学習に対するさまざまなニーズや し職員体制を維持することによって、今後も生涯 となどに繋げます。		
	業に関係する都道府県又は 主要政策・施策とその目標	基本計画 第5章 第4節 社会教育 (1)地址 下	或づくり、人づくりを 市民1人あたりの公民館 基準値(R1)	文化のまちづくり 目指した社会教育 利用回数を増加し 6回 目標値(F 数 614,371人÷地	ます (6) 7回 域内人口 1				
事業開始。	年度	4	令和3年度		事業終了 (予定) 年度		令和3年度		
事業期間の	の設定理由								
		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度		
			令和3年12月~	成果実績	成果実績 人 504		504		
		加茂公民館利用 者数210人以上	令和4年1月の	目標値	人		210		
		有数210八以上	利用者数	達成度	%		240.0%		
ナルヘキ	₩ a	交付金充当期間中に評価することが好ましいため。							
父竹金争	業の成果目標及び成果実績			交付金	事業の定性的	な成果及び評価等			
		なお、市民の生涯学		なニーズや地域活動	動に対応する	活動拠点として地域化	主民に幅広く利用されています。 地域住民に概要を周知し、理解が得られました。		
				評価に	系る第三者機	関等の活用の有無			

	活動指標		単位	3年度			
カリハ 古 型 の 近	加茂公民館職員の雇用量	活動実績	人月	12. 0			
交付金事業の活動指標及び活動実績	(雇用人数(2人)×雇用期間(6か	活動見込	人月	12.0			
	月))	達成度	%	100.0%			
交付金事業の総事業費等	令和3年度					(令	備 考 和3年度)
総事業費	2, 404, 200						2, 404, 200
交付金充当額	2, 200, 000						2, 200, 000
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	2, 200, 000						2, 200, 000
交付金事業の契約の概要	•		•		<u> </u>		
契約の目的	契約の目的 契約の方法		萝	契約の相手方		契約金額	
人件費			加茂な	公民館職員 2名			2, 404, 200
交付金事業の担当課室	西条市 教育委員会管理部 袖	土会教育課					
交付金事業の評価課室	西条市 産業経済部 産業振り						

I 事業評価総括表(令和3年度)

番号	措置名		交付金事業者名又は間接交付 金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	福祉対策措置	西予市立惣川幼稚園運営事業	西予市	4, 400, 000	4, 400, 000	総事業費 5,768,394

番号	措置名		交付金事業の名称								
1	福祉対策措置		西予市立惣川幼稚園運営事業								
交付金事業	業者名又は間接交付金事業	首名 西予市									
交付金事業	業実施場所	西予市野村町惣川									
交付金事業	業の概要	発電用施設の立地地域・周 運営を行います。そのため	辺地域の住民が安心 当該施設の維持管理	して子育てを 運営に必要な	ン、暮らすための 数員の人件費 (2	重要なサー 名・9カ月)	ビスの一環とし に交付金を充	て、西予市立惣川幼 当します。	稚園の維持管理		
	業に関係する都道府県又は 主要政策・施策とその目標	第2次西予市総合計画(平 基本計画(平成28年度~ ひとづくり分野 8 子育て支援(乳 保育等の充実を図るための ①保育士を確保するための ②子供の数が減少するめの ③民営化や統廃合を含めた 目標:保育所等の満足度	令和6年度) 幼児) 、保育所・幼稚園等 取り組みを進めます 適切な規模での保育 組織の在り方を検討	において職員(。 所等の運営を <i>1</i>		「援に必要な!	景境の整備を行	います。			
事業開始生		令和3年	令和3年度 事業終了(予定)年度					令和3年度			
事業期間の	の設定理由										
		成果目標	成果指	計標		単位	評価年度	令和3	年度		
					成果実績	%			100		
		当該地域における入園対 象者の入園率 100%			目標値	%			100		
		家有切八图学 100/0			達成度	%			100		
六什へ車さ	とのよ用り挿及がよ用字法				評価年度の設定理	上 由					
文刊 並 爭 ラ	業の成果目標及び成果実績	単年度毎に目標設定しているため									
				早十尺:	歩に日保政化し い	· () () ()					
					サに日信設定し、 業の定性的な成り						
		当該幼稚園の継続運営に交ができました。	付金を充てることで	交付金事	業の定性的な成身	見及び評価等	教育サービスを	提供し、保育環境の	充実を図ること		
			付金を充てることで	交付金事、地域住民が	業の定性的な成身 安心して暮らすたる第三者機関等の	具及び評価等 よめの保育・	教育サービスを	提供し、保育環境の	充実を図ること		
		ができました。		交付金事、地域住民が	業の定性的な成身 安心して暮らすた る第三者機関等の 無	是及び評価等 めの保育・記 の活用の有無					
		ができました。 活動指標	rok.	交付金事、地域住民が	業の定性的な成身 安心して暮らすた る第三者機関等の 無 単位	是及び評価等 めの保育・記 の活用の有無	教育サービスを 令和元年度 18.0	提供し、保育環境の 令和 2 年度 18. 0	充実を図ること 令和3年度 18.0		
交付金事業	業の活動指標及び活動実績	ができました。	· · · ·	交付金事 、地域住民が 評価に係	業の定性的な成見 安心して暮らすた る第三者機関等の 無 単位 人月	是及び評価等 めの保育・記 の活用の有無	令和元年度	令和2年度	令和3年度		

交付:	金事業の総事業費等	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考 (令和3年度)	
糸	事業費	5, 357, 649	5, 670, 105	5, 768, 394	5, 768, 394	
交	付金充当額	4, 400, 000	4, 400, 000	4, 400, 000	4, 400, 000	
	うち文部科学省分					
	うち経済産業省分	4, 400, 000	4, 400, 000	4, 400, 000	4, 400, 000	
交付:	金事業の契約の概要	•				
	契約の目的	契約の方法		契約の相手方	契約金額	
	人件費	雇用	Ý	功稚園教諭 2名	5, 768, 394	
交付	金事業の担当課室	西予市 福祉事務所 子育て支援語	果	·	·	
交付	金事業の評価課室	西予市 政策企画部 政策推進課				

I 事業評価総括表(令和3年度)

1	番号	措置名		交付金事業者名又は間接交付金 事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
	1	地域活性化措 置	地域環境対策事業	大洲市	4, 400, 000	4, 400, 000	総事業費 5,172,000

番号	措置名		交付金事業の名称						
1 地域活性化措置			地域環境対策事業						
交付金事	業者名又は間接交付金事業	者名 大	洲市						
交付金事	業実施場所	大洲市肱川町							
交付金事	業の概要	令和3年7月1日〜 生活道の確保に努め		期間、道路整備員	3名分の人件	費に充てさせていただ	き、市道の清掃や支障木の伐採等、安心安全な		
交付金事業に関係する都道府県又は 市町村の主要政策・施策とその目標		第 3編 基本計 基本目標 4 施策17 交 4 主要施策 主要施策 ③ 引市市追 「「市追	快適きらめくまちづ 通・情報基盤の整備	くり →36%(H33)」 →80%(H33)」 整備、適切な維持 ⁴	管理、長寿命 [。]	化に努めます。			
事業開始	手度	令	令和3年度		事業終了(予定)年度		令和3年度		
事業期間の	の設定理由			•					
		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和3年度		
				成果実績	%		_		
		安心安全な生活道 の確保	_	目標値	%		_		
				達成度	%		-		
交付金事	業の成果目標及び成果実績	肱川地区は、山間部 ることから、評価年	なに位置しており、自然 を度については令和3年	然の影響により市泊 年度としたもので [~]	道の状況が大 け。	きく左右されます。そ	のため、事業実施後早期に評価を行う必要があ		
				交付金	事業の定性的	な成果及び評価等			
		適正な維持管理のた	:めの現場作業員3名:	分の人件費に充てる	させていただ		路線も含む。)散在する集落を結ぶ生活道路の 全な生活を確保することができました。作業時 。		
				評価に		関等の活用の有無			
					無				

	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
之/ 人 古		活動実績	人月	21	24	24
交付金事業の活動指標及び活動実績	整備員充当量(人月)	活動見込	人月	21	24	24
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	令和元年度	令	和2年度	令和	3年度 (令	備 考 和3年度)
総事業費	5, 773, 100	5	, 317, 600	5, 1	72, 000	5, 172, 000
交付金充当額	4, 400, 000	4, 400, 000		4, 40	00, 000	4, 400, 000
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	4, 400, 000	4	, 400, 000	4, 40	00, 000	4, 400, 000
交付金事業の契約の概要	•		•		•	
契約の目的	契約の方法		契約の相手方		契	約金額
人件費雇用		道路	整備員3名			5, 172, 000
交付金事業の担当課室						
交付金事業の評価課室						